

支笏湖ビジターセンター便り

2020年(令和2年)11月号 Vol.131

今年は大勢来ています!



ツグミ (ヒタキ科)

今、あちらこちらでナナカマドに群がっている様子を見せているのがツグミです。たくさんの方が「あの赤い実のなる木にたくさんいる鳥は何?」と興味をそられているようです。

体の大きさはヒヨドリくらいです。全国的にツグミは冬鳥。繁殖地は北海道よりもっと北・ロシアの東にあるカムチャツカ半島方面で、極寒の地を離れて越冬のために来ている渡り鳥です。渡ってきたばかりでおなかペッコペコなのかもしれませんね。

ツグミはナナカマドが大好き!



園地にあるひときわ目立つ、赤い実をたわわに実らせた木がナナカマドです!

いま園地で見られる身近な野鳥

キバシリ、ヒガラ、ヤマガラ、ハシブトガラ、ゴジュウカラ、コゲラ、アカゲラ...など

シマエナガも
見つけやすい!



シマエナガ

(エナガ科・北海道亜種)

11月11日午前、ビジターセンター周囲で目撃情報が多発。「シマエナガを見た!!」の声が集まりました。これから支笏湖温泉園地でもシマエナガが観察しやすくなりますよ。(夏は森の中にいるのが好きようです)

シマエナガは本州のエナガと違って頭の羽の色が真っ白。体はスズメより小さく尾はとても長いです。「柄の長いひしゃく」のような形なので、「柄長」と名付けられたそう。小さな体の羽をふっくらと膨らませて雪玉みたいな姿になったシマエナガが見られるといいですね。

晩秋から冬にもお薦め!

バードウォッチング

支笏湖ビジターセンターそばの園地は、落葉する木が多く11月に入ればほとんどの葉っぱが落ちて、梢を飛び回る野鳥たちの姿が丸見えです。可愛らしい野鳥のしぐさを目に焼き付けましょう。

また、野鳥の声もキャッチしましょう。小さくて消え入るような声。力強い声。木を叩くような音や木の皮をはぐ音。枝を渡り歩く足音。羽ばたきの音。耳を澄ませば、野鳥との素敵な出会いの瞬間がたくさん訪れます!

自然ふれあい行事
参加者募集中

クリスマス&お正月クラフト

支笏湖園地で拾える自然素材を使って季節の行事にぴったりのクラフトを作ります。

12月5日(土)・13日(日)

各日10:00~12:00

定員8名・参加費無料

材料道具はビジターセンターが用意します



11月3日の行事「紅葉パウチ体験」での制作の様子です。窓に向かって集中して制作。新型コロナウイルス感染予防のため、従来まで行っていた参加者同士の対面での制作はいたしません。近くの窓を開け換気しながら開催させていただきます。ご協力お願いいたします

支笏湖温泉の気象

支笏湖畔の
気温・降水量・日照時間
～気象庁アメダスによる
平年値と今年の観測

気温(°C)		
	平年値	今年
10月上旬	11.9	12.8
中旬	10.1	10.7
下旬	7.9	9.2
11月上旬	5.9	6.9

日照時間(h)		
	平年値	今年
10月上旬	40.7	29.9
中旬	43.7	43.2
下旬	42.7	47.5
11月上旬	34.3	34.1

降水量(mm)		
	平年値	今年
10月上旬	72.9	86.5
中旬	65.6	152
下旬	53.8	77
11月上旬	41.4	24.5

春からの高温傾向は10月も続き、同月の平均気温10.9°Cは平年値より1.0°Cも高く、同月としては観測開始以来高い方から8番目でした。降水量も多く月合計315.5mmは同月としては多い方から4番目。また10月12日の日降水量151.5mmは同月としては多い方から3番目でした。

11月に入っても気温は高め、中旬の平均気温6.9°Cは平年値より1.0°C高く、7日の日最高気温16.3°Cは同月としては高い方から7番目でした。

ビジターセンターの観測による温泉街の初雪は11月4日。2017年までのほとんどが10月中でしたが、2018年から3年連続で11月になりました。

アクティブ・レンジャー日記

環境省 支笏洞爺国立公園管理事務所
アクティブ・レンジャー(自然保護官補佐)
当山 真貴子



側溝清掃中



ポロピナイ清掃

紅葉シーズンが終わり、冬の訪れを感じる支笏湖。先月末(10/30)、規模を縮小し「環境月間の清掃」を開催しました。今回は、「ポロピナイ」と「休暇村支笏湖付近の側溝」、「中モラップ」の3ヶ所に設定し、各企業・団体様、地域の皆様、パークボランティアさん等(総勢約50名)にご協力いただいたお陰で、約134.1kgのゴミを回収することができました!本格的な冬を迎える前に、支笏湖は綺麗になりました♪紙面をお借りしまして、お礼申し上げます(^^)

展示物の紹介

ビジターにおいてよ

今回紹介するのは二種類の哺乳類、キタキツネとエゾタヌキの剥製です。

キタキツネは北海道のお土産品にもよく登場する、言わずと知れた存在ですが、エゾタヌキの方は知名度が高くないようで、剥製を見て「北海道にタヌキっているんですか?」と尋ねる方もいらっしゃいます。

車の運転中ときおり姿を見かける両者ですが、剥製であればじっくり見られます。本州以南のホンダギツネと違ってキタキツネは足先が黒いことや、タヌキのしっぽはシマシマではないこと(シマシマなのはアライグマです)など、いろいろ観察して確かめてみてくださいね。



多目的展示室から

竹津昇
水彩画展11月30日(月)
午後3時まで

水彩連盟会員、道展会員、千歳美術協会会長で東千歳中学校の美術指導を行う竹津昇さんの水彩画展を開催しています。展示されているのは、千歳市内の農家の納屋や牛舎、農機具、広島県で見た里山、さらにスペイン・アンダルシアで出会った馬、シベリアで見た給水塔と多彩です。

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行

〒066・0281 北海道千歳市支笏湖温泉番外地

Tel. 0123・25・2404

HPアドレス <http://shikotsukovc.sakura.ne.jp>

【開館時間】 ※入館無料

4月から11月 午前9時から午後5時30分まで

12月から3月 午前9時30分から午後4時30分まで
(火曜日休館)

年末年始休館日 12月29日から1月3日まで